事務用印刷物製造企業脱却へ

トヨテック製 自動給紙カッティングプロッター活用

事業領域拡大に挑戦

手軽にサンプル作成で新規案件受注に効果

㈱東京パック（東京都豊島区池袋、武藤雄吾社長）は、高付加価値印刷による事業領域拡大を目指し、2022年8月にトヨテック製 自動給紙A2カッティングプロッター「DG－4060ⅡPlus」（以下DG－4060）を導入し、事務用印刷物を中心とした印刷会社から脱却する取り組みを展開している。導入から半年でパッケージやタグ、シール等、サンプル作成を含めると70～80の新規案件を受注した。営業部次長の菊地洋平氏は「型が不要なため、手軽にサンプルを制作できる。実際に現物を見せて提案できるため、新規案件の受注にもつながりやすい」と話しており、事務用印刷の落ち込みをカバーするものとして期待している。

東京パック

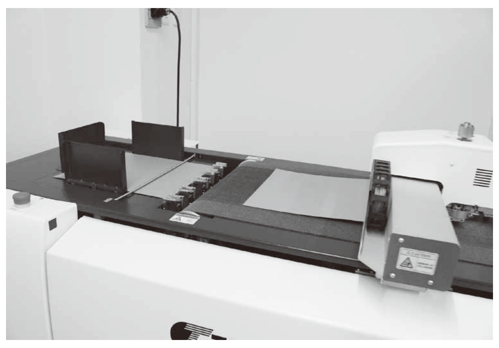
同社は一般印刷及び紙器の製造販売を目的として創業し、今年で60周年を迎える。事務用印刷を手掛ける一方、独自の顧客を獲得していくため、2017年にはオンデマンド印刷機を導入。また、高付加価値印刷にも対応するため、断裁や折り、箔押し、PPなどの設備も導入し、現在はDTPから印刷・加工・検品・発送までを一貫生産できる体制を整えている。さらにプライバシーマークも取得しているため、DMや挨拶状、賞状などの可変印刷も手掛けている。封筒については、ECサイト「封筒印刷専門店 パーソンズプラザ（https://www.personsplaza.com）」も運営している。

「DG-4060IIPlus」の前で菊地次長

ただ、近年はコロナ禍により名刺印刷の受注が激減。菊地次長は「名刺印刷が売上の3割を占めていたが、それが2割にまで落ち込んだ」と話す。

この売上の落ち込みをカバーする手段として考えたのが、カッティングプロッターによる高付加価値印刷物の製造で事業領域を拡大し、事務用印刷物を中心とした印刷会社から脱却することだ。菊地次長は「折りと断裁だけでは、インパクトのある加工はできない。カッティングプロッターにより成形までを行い、より付加価値の高い印刷物を製作していくことで、事業領域を拡大できると考えた」と話す。

そして同社は2022年8月に「DG－4060」を導入。菊地次長は「内製化の〝底上げ〟を図ることができた」としており、他の加工機とのシナジー効果により、設備力が足し算ではなく、掛け算的に向上したことを強調している。



自動給紙で作業負荷を大幅に軽減

見当をカメラで読み込むため、高精度なカッティングが可能

自動給紙と見当精度、スピードを評価

同社がカッティングプロッターに「DG－4060」を選んだポイントの1つは「自動給紙」であることだ。菊地次長は「自動給紙がないと生産性が非常に悪い。何社か比較したが、当社が求めていたA2に対応し、さらに見当精度やスピードを含めて検討した結果、DG－4060が最適と判断した」と話す。自動給紙のフィーダーは最大120mmまで積むことができる。

DG－4060は、見当をカメラで読み込むため、カッティング精度に非常に優れており、それと比べると「他社製品はサンプル作成用のレベルから抜けきれていないイメージ」（菊地次長）。

また、DG－4060はカッティングの見当精度の良さに加えて、押し圧についてもパラメーターで5段階から調整することが可能で、メディアに最適な強度を選択できる。菊地次長は「メディアごとに最適な押し圧は異なると思うので、ノウハウとして積み上げていきたい」と話す。スピードは毎秒2メートルまでの速度が可能で、パソコンに数値を入力して調整できる。菊地部長は、「他のカッティングプロッターと比較してもかなり速い。軽量のメディアの場合、速すぎて紙が持っていかれそうになるほど」。スピードについてもメディアごとに最適なスピードを見つけていく考えだ。

また、DG－4060はファイル名と紐付けたQRコードを入れることで、異なるカットデータを読み込み、連続処理を行える。菊地次長は「数百部までの小ロット受注がメインのため、この機能により、多品種・小ロットの作業を非常に効率的に行えるようになった」と、オペレーターに作業負荷をかけずに加工が行えることを評価している。

「型」が不要で低コストにサンプル作成

同社では、これまでもピク抜きなどの加工をともなう案件がきたことはあった。しかし、「コストや型の作成に時間がかかることから、立ち消えになることが多かった」（菊地次長）。それがDG－4060を導入してからは、型が不要で低コストかつ手軽にサンプルを作成できるため、「営業に行ってもスムーズに話が進むことが多く、実際の受注につながる確率も増えた。クライアントと商談する中、DG－4060でできそうと思えば、すぐにサンプルを作成して持っていくことも多い」（菊地次長）。これまでに70～80件の新規案件を手掛けたということだ。そして、DG－4060の導入により、トナーの思わぬ使用方法を発見できたことも副産物であったという。「DG－4060は非常にキレイに筋入れができることも評価できるポイントだが、メディアに筋を入れたときにトナー割れが起きたことがあった。思索した結果、クリアトナーを引いてから筋入れすることで、トナー割れすることなく筋入れできることを発見した」（菊地次長）。DG－4060の導入は、同社の印刷会社としての技術力向上にもつながったようだ。

さらに、「DG－4060を導入して半年経つが、まだまだその機能を活かしきれていない」（菊地次長）としており、今後もメーカーの㈱トヨテックと商社の㈱大塚商会のサポートを得ながら、その機能を最大限に活用していく考えだ。これにより「事務用印刷の受注もできる限り維持しながら、パッケージなど新たな事業領域に挑戦していきたい」（菊地次長）と展望する。

さらに、「将来的には当社だけのオンリーワン製品の開発にも挑戦していきたい」（菊地次長）と期待は大きい。DG－4060は、その期待に応えるに十分な機能を秘めている。

特集 販売促進

イベントやキャンペーンで効果を発揮

真の販促ツール提供へ

顧客の課題をキュリアで解決

原材料の値上げやエネルギー価格の高騰は、印刷会社の経営に大きな影響を及ぼしている。この問題は、印刷会社の顧客、つまり印刷発注者も同様である。そのため印刷発注者が求めているのは、単なる印刷だけの提供ではなく、自社ビジネスの発展・成長を実現する販売促進ツールとしての機能だ。この真の販促ツール制作に㈱ミリアド（樋口清政 代表取締役CEO）が大きく貢献している。今回、キュリアを活用し、成果を上げた販促ツール事例について紹介していく。

ミリアド

キュリアとは、スマホサイトやキャンペーンコンテンツ（ガチャやスクラッチなど）を「誰でも」「最短1分で」「制作上限なし」でフルカスタマイズして作成できるサービス。配信もデザインQRやNFCシールなど利用者にダウンロードの手間をかけない方法で行うことができる。

印刷機などの生産設備のような大掛かりな投資コストの必要はなく、また、Webコンテンツ制作など、これまで多くの印刷会社が苦手としてきた領域に対し、専門知識不要で参入できることから、導入が加速している。

その場で当落を確認できる機能を評価

㈱アラジンイデア（東京都千代田区）は、化粧品メーカーの購入キャンペーンでキュリアを活用し、クライアントから高い評価を得ている。

この化粧品メーカーでは、半年に1回のペースで販売促進を目的としたキャンペーンを実施していた。具体的には、レシートに印刷されたQRから専用フォームに誘導し、プレゼント抽選に応募させる仕組みを採用していた。一般的なキャンペーンであるが、化粧品メーカーが懸念していたのは、「後日、商品の発送をもって発表」という当落の発表だ。この方法では、当選してもタイムラグが生じ、また、はずれた参加者には、なんのアクションもないため、キャンペーン自体の楽しさや臨場感が時間の経過とともに薄れていく。そのため化粧品メーカーは、後日当落がわかるのではなく、その場ですぐに確認できる「インスタントウィン」の懸賞システムへの変更を要望して掲げた。

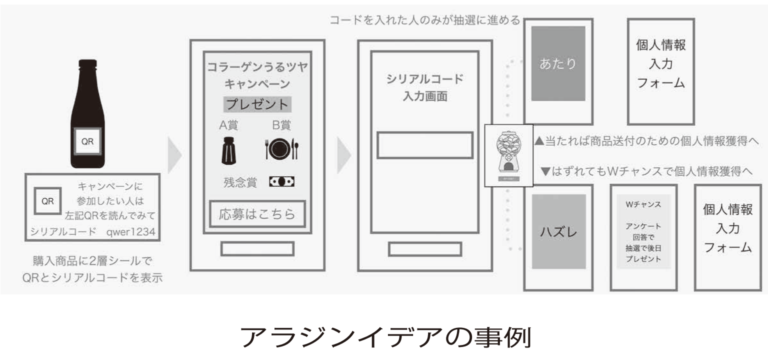
そのニーズに応えるためアラジンイデアでは、これまでのレシートではなく、商品に貼るキャンペーン参加用の2層シールにキュリアを活用した。2層シールを1枚剥がすとキャンペーン用のQRとシリアルコードを印刷した面が表れ、このQRを読み込むと専用のLP（ラウンディングページ）に移動し、キャンペーンの内容を表示する。内容を確認した上で応募ボタンをクリックすると今後は、シリアルコード入力画面に移行し、入力が完了すると、その場で当落が確認できる抽選ガチャに参加する仕組みとなっている。今回、シリアルコード入力を採用した理由としては、複数回の応募など不正参加を防止することを目的としている。

新たな顧客情報の獲得にも効果

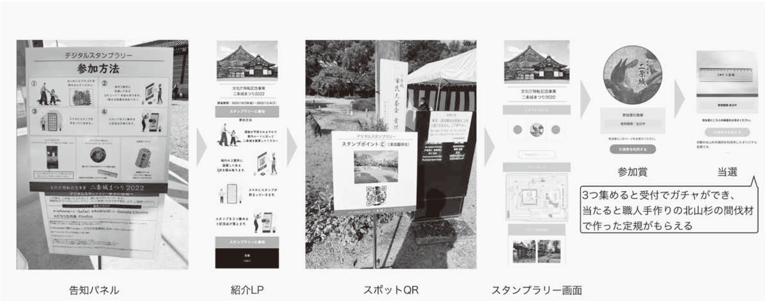
これにより化粧品メーカーからの要望は達成しているが、さらにキュリアの機能を活用した仕組みも付加した仕組みとして提供している。それは、はずれた参加者の顧客情報の収集だ。

インスタントウィンによりその場で当落が確認できるが、この時点では、当選者だけが個人情報入力フォームに進み、落選者はサイトから離脱してしまう。今後のキャンペーン告知などを広く発信していくためには、実際に商品を購入してくれた落選者にも情報を届けることが重要である。

そのため、はずれても次の抽選に参加できる「Wチャンス」システムを採用し、より多くの顧客情報を収集できる仕組みを構築し、今後の販売促進につなげている。


コードを入れた人のみが抽選に進める
QR
キャンペーンに参加したい人は左記QRを読んでみて
シリアルコード qwer1234
コラーゲンうるツヤキャンペーン
プレゼント
A賞
B賞
残念賞
応募はこちら
シリアルコード入力画面
あたり
ハズレ
個人情報入力フォーム
▲当たれば商品送付のための個人情報獲得へ
▼はずれてもWチャンスで個人情報獲得へ
Wチャンス
アンケート回答で後日抽選でプレゼント
個人情報入力フォーム
購入商品に2層シールでQRとシリアルコードを表示

アラジンイデアの事例


デジタルスタンプラリー
参加方法
参加賞
当選
3つ集めると受付でガチャができ、当たると職人手作りの北山杉の間伐材で作った定規がもらえる
告知パネル
紹介LP
スポットQR
スタンプラリー画面

スイッチ．ティフの事例

二条城で実施されたイベントの課題を解決

㈱スイッチ．ティフ（京都府京都市）は、地元の有名観光スポットである二条城が展開するイベントにキュリアによるデジタルスタンプラリーを提案し、採用された。

世界遺産にも登録されている二条城は、国内外でも有名な京都の観光名所である。しかし、多くの観光客が訪れるのは、本丸が中心で敷地内にある様々な名所やスポットを拝観することなく次の観光先に移動してしまうという問題を抱えていた。その解決策として、二条城の敷地内に点在する見どころを余すことなく、巡ってもらうことを目的にクイズラリーを実施。しかし、このクイズラリーでは、クイズの解答用紙と筆記用具が必要となる。そのため二条城を訪れたすべての拝観者に手渡しで行うなど人的労力が大きな負担となっていた。さらにコロナ禍の影響により、筆記用具は毎回、消毒を行う必要があり、作業負荷がさらに増えていった。加えてクイズラリー自体に興味を抱かず、解答用紙を平気でポイ捨てするマナー違反なども横行し、景観を損ねる原因にもなっていた。

この負担を改善し、さらにより多くの観光客に手軽に楽しみながら二条城の観光スポットを巡ってもらいたい、という要望をキュリア活用によるイベントで実現した。

誰もが操作できるシンプル設計でイベント参加を促進

このイベントは、二条城にある3つのポイントでデジタルスタンプを集めると、二条城のステッカーがもらえるデジタルスタンプラリー。さらにおみくじ機能も付加し、当たると職人が手作りした北山杉の間伐材で製作された定規がプレゼントされる特典も用意した。

さらに、スマホ操作に自信のない高齢者でも簡単に参加できるようにシンプルな設定を採用したことが大きな特徴となっている。具体的には、画面スクロールなどをあまり行うことなく内容が確認できるように配慮している。

このデジタルスタンプラリーの採用により、解答用紙と筆記用具の配布が不要となったほか、消毒作業などの負担もすべて解消することができた。

その結果、開始2週間で300人以上が参加し、これまで伝えることができなかった二条城の新たな魅力を発信することができたという。

キュリア活用を支援する「DX人材育成支援プラン」を用意

これらの事例で共通しているのは、印刷物ありきではなく、顧客の課題にフォーカスし、キュリアを活用した課題解決の提案を実践していることだ。そのためミリアドでは、定期的にウェビナーを開催し、キュリアの機能紹介や活用事例を積極的に紹介し、従来からの脱却を呼びかけている。

しかし、一方で「キュリアを導入したいけど、どのように顧客に企画・提案していいのかわからない」といった意見も多く寄せられているという。これらの要望に応えるためミリアドでは、「DX人材支援推進プラン」として、個別の勉強会や研修会を通じて、キュリアの有効的な活用方法などを学ぶことができる教育・サポートプログラムも用意している。

TEC COATER SYSTEM-50
TEC COATER SYSTEM-50 は A3 ノビサイズノ枚葉コーター機です。
お客様のニーズに合わせた設計で直感的な操作を可能にしたスキルレス化を実現。
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 私たちは持続可能な開発目標（SGDs）を支援しています。

TECHNO ROLL
TECHNO ROLL
TECHNO ROLL
TECHNO ROLL

多種・多様に対応する優れた機能
オートフィーダー：装置を停止させることなくフィーダーへ紙の補充が可能。薄紙から厚紙まで安定した給紙を行えます。
コロナ処理装置：装置を停止させることなくフィーダーへ紙の補充が可能。薄紙から厚紙まで安定した給紙を行えます。
コーターユニット：昇降仕様の塗布ユニットで均一な膜質で塗布することが可能。表面保護や光沢など印刷物の付加価値を高めます。
IR 乾燥装置：プライマーの乾燥はIR乾燥装置で行います。乾燥が最適になるように調整が可能で、速度に対応した十分な乾燥能力を発揮します。
UV 乾燥装置：シャッター付きUV乾燥装置を採用。強力UV照射で厚盛されたニスも乾燥させることが可能です
新技術の開発と最高品質を追求し続けます。
TEC テクノロール株式会社　RYNO ROLLERS　WESTLAND
URL http://www.technoroll.co.jp
E-mail info@technoroll.co.jp
本社･工場 〒594-1144 大阪府和泉市テクノステージ3丁目4-5 TEL.0725-53-3933(代) FAX.0725-53-3922
関東支店 〒335-0032 埼玉県戸田市美女木東2丁目3-6 TEL.048-449-7333(代) FAX.048-449-7444
東北営業所 〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町3丁目4-11-104 FAX.022-355-2242
九州営業所 〒841-0081 佐賀県鳥栖市萱方町268-4 オフィスパレア鳥栖Ⅲ 3号室 FAX.0942-85-7835
ISO 14001 JQA 登録証番号：JQA-EM5066 本社工場・関東支店

無限に続く
フレキソ製版の可能性を
追求しています。
私たちは国内に紹介され始めた当初からフレキソ製版に取り組み
常に業界の最先端を走り続けてまいりました。
進化を続けるフレキソ製版方法のすべてを行うことが可能であるばかりではなく
私たちしかできないデータ処理、加工技術でご要望以上の満足をご提供いたしております。
sumita
株式会社スミタ
大 阪（本社）
〒543-0011 大阪市天王寺区清水谷町2-33
TEL.06-6768-2891 FAX.06-6768-4899
東 京
〒332-0011 埼玉県川口市元郷4-25-7
TEL.048-456-8572 FAX.048-223-2995
名古屋
〒462-0835 名古屋市北区杉村1-12-7
TEL.052-917-5673 FAX.052-917-5675
松 山
〒790-0003 愛媛県松山市三番町7-13-13-103
TEL.089-915-0097 FAX.089-915-0129